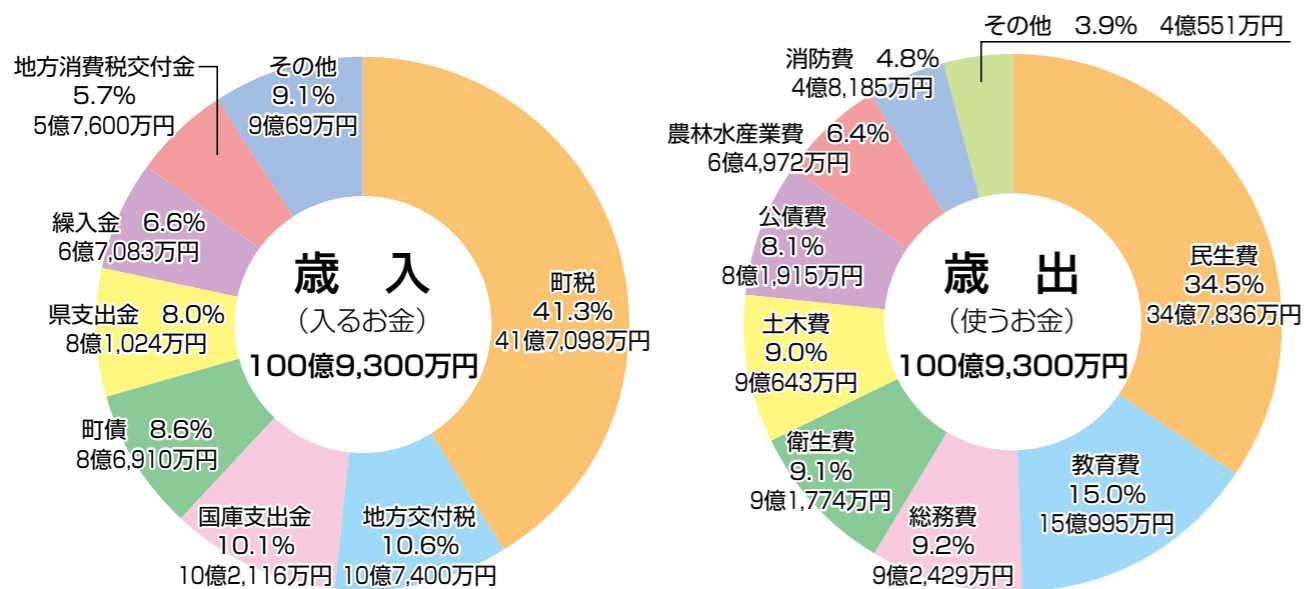


# 平成30年度当初予算

一般会計の内訳



一般会計予算額は3年連続で100億円超

各会計予算総括表

区分	予算額	対前年伸率
一般会計	100億9,300万円	△3.6%
特別会計		
国民健康保険	37億521万円	△20.6%
後期高齢者医療	4億327万円	9.4%
介護保険	22億8,439万円	2.9%
介護サービス	2,100万円	△5.1%
下水道事業	12億469万円	△5.0%
農業集落排水事業	4億1,635万円	△42.6%
計	80億3,491万円	△13.3%
水道事業会計	9億1,798万円	19.5%
合計	190億4,589万円	△7.1%

※表示単位未満を四捨五入しており、積み上げと一致しない場合があります。

## 用語解説

### 地方交付税

財政力が弱い自治体でも、福祉や教育などの基本的な行政サービスができるよう国が配分するお金

### 町債

町の借金。道路や建物など、何十年も使っていく施設の建設費を今後利用する住民にも負担してもらうもの

### 公債費

借りたお金(町債)を返済していく費用

平成30年度の全会計の予算総額は190億4,589万円で、前年に比べて7.1% (14億6,196万円) の減額となりました。

一般会計の予算額は100億9,300万円で、前年には庁舎耐震改修等事業などがあったことにより、前年に比べて3.6% (3億7,401万円) の減額となりましたが、3年連続で100億円を超える積極型の予算編成となっています。歳入では、町税が法人税割の伸びなどにより増額となっていますが、地方交付税は減額となっています。歳出では、近年の社会保障関連経費の増加に加え、母里小学校大規模改造事業や稲美北中学校大規模改造事業など、公共施設の更新にも引き続き多額の費用が必要となっています。結果、町債を活用してもなお不足する財源を賄うため、基金(貯金)の取り崩しで穴埋めする厳しい財政状況となっています。このような状況の中ですが、福祉、教育、衛生などの生活に密着した予算を確保したうえで、教育の推進に関する事業、子育て支援に関する事業、土地利用と居住環境の整備に関する事業など、稲美町の将来を見据えた予算としています。

子どもから高齢者まですべての世代の皆さんが、ふるさとに愛着を持ち、「住んでよかった」と実感し、夢と希望をもって暮らし続けることができる安全で安心な稲美町が未来まで続くよう、安定した道筋をつくってまいります。



「人と緑のホームタウン いなみ」

# 教育の推進と子育て支援に重点

## 教育の推進

母里小学校の特別教室棟及び稲美北中学校の体育館の大規模改造工事を実施するとともに、いよいよ4月から母里幼稚園と天満南幼稚園の2園で3歳児教育を実施します。また、天満放課後児童クラブにおいては、(仮称)天満第3放課後児童クラブの実施設計に着手し、待機児童対策を実施します。

## 子育て支援

### 福祉施策

子育て支援施策を包括的に進めるために、健康福祉部内に新たに「こども課」を設置するとともに、子育て世代と高齢者等の多世代が交流できる子育て支援拠点施設の基本設計を実施し、さらに「子育てしやすいまち」を目指します。

また、妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図るとともに、休日及び夜間の一次救急医療を同一施設で実施する定点

化事業に東播磨2市2町で着手します。

## 安全・安心

住民の生命と財産を災害や武力攻撃から守るため、稲美町防災計画及び国民保護計画を見直すとともに、犯罪被害者等に対する支援に取り組みます。また、町内すべてのカーブミラーの点検を行います。

## 土地利用と居住環境

引き続き加古地区における地区計画の策定に取り組むとともに、既に地区計画を決定した母里地区及び田園集落まちづくりによる特別指定区域の住宅の新築等に補助し、市街化調整区域の活性化を図ります。

